

「学際創成学術院」 令和９年度入学者選抜の概要の公表について

本学は、「研究科等連係課程実施基本組織」制度を活用した新たな大学院教育組織「学際創成学術院」の令和９年度設置に向けて文部科学省へ申請中です。令和９年４月の学生受入に先立ち、各学位プログラムの入学者選抜の概要についてお知らせいたします。

なお、本構想は現在申請中であり、今後変更となる可能性があります。設置が認められた場合には、令和８年９月に募集要項を[筑波大学大学院募集要項ページ](#)にて公表する予定ですので、入学者選抜に関する正式な情報については、募集要項をご確認くださいようお願いいたします。

以下のプログラム名をクリックすると該当ページに進みます。

- 創成法学学位プログラム（博士前期課程）
- 創成法学学位プログラム（博士後期課程）

- ソーシャルエコロジー学位プログラム（博士前期課程）
- ソーシャルエコロジー学位プログラム（博士後期課程）

- 次世代エネルギー共創学位プログラム（博士前期課程）
- 次世代エネルギー共創学位プログラム（博士後期課程）

- ライフイノベーション学位プログラム（博士前期課程）
- ライフイノベーション学位プログラム（博士後期課程）

- ヒューマニクス学位プログラム（一貫制博士課程）

令和 9 年度入学者選抜の概要

創成法学学位プログラム

(博士前期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

法に関する具体的テーマに関心を持ち、学際的な視点で、絶えず変化する社会における法のあり方を自らの課題として分析・創造でき、実社会で起きる法的な課題に関する問題意識を基盤として、新たな法学の可能性を構想し、世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する意欲と基礎的な見識を持つ学生を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として書類審査および口述試験を実施する。書類審査では、研究計画書、学業成績と外国語能力により評価する。研究計画書の評価基準は専門性、多角性とする。学業成績により研究遂行のための必要な能力を評価する。外国語能力は、外部テストのスコアと口述試験をもとに評価する。口述試験において、評価基準はコミュニケーション能力、対話力とする。

出願時の主な提出書類

卒業（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、推薦書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

10名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1 ～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和9年度入学者選抜の概要

創成法学学位プログラム

(博士後期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

法に関する具体的なテーマについて基盤的知識を持ち、学際的な視点で、絶えず変化する社会における法のあり方を自らの課題として分析・創成し、創成法学を牽引でき、実社会で起きる法的な課題に関する基盤的知識を有し、かつ、新たな法学の可能性を構想しつつ世界が直面する問題の解決に主体的に貢献する意欲と創造力を有する者を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として書類審査および口述試験を実施する。書類審査では、研究計画書、修士論文、又はそれに相当する学術論文、学業成績と外国語能力により評価する。研究計画書、修士論文、又はそれに相当する学術論文の評価基準は専門性、多角性、独創性とする。学業成績により研究遂行のための必要な能力を評価する。外国語能力は、外部テストのスコアと口述試験をもとに評価する。口述試験において、評価基準はコミュニケーション能力、対話力、リーダーシップとする。

出願時の主な提出書類

修了（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、修士論文、又はそれに相当する学術論文（出願のために新たに作成した未公表のものを含む）、推薦書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

6名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1 ～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和9年度入学者選抜の概要

ソーシャルエコロジー学位プログラム

(博士前期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

社会科学の広範な分野において、イノベーションを実現する強い意欲を持ち、その実現に必要な高度な研究能力や、その社会実装化に必要な実践力と実務力を身につけ、グローバルな舞台で活躍するためのコミュニケーション能力を修得するに十分な素養を有する人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。書類審査ならびに口述試験により、本学位プログラムで専門分野を学ぶために必要な基礎学力、社会科学分野におけるイノベーションの実現への探求心、その社会実装化に向けた意欲などを評価する。また口述試験においては、本学位プログラムで必要となるコミュニケーション能力を有しているかも評価する。

出願時の主な提出書類

卒業（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、推薦書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

6名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和 9 年度入学者選抜の概要

ソーシャルエコロジー学位プログラム (博士後期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

社会科学・ソーシャルエコロジーに関わる専門分野における研究基礎力を有し、そのイノベーションの実現に必要な専門知識、その成果に基づく新たな社会・経済的価値の創造や社会実装を遂行していくために必要なコミュニケーション能力と実践力を、修得するに十分な素養を有する人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。専門分野における研究能力に加え、社会課題の解決を目指して自律的に研究を進めて行くことのできる資質・能力を、書類審査ならびに口述試験により評価する。書類審査によりこれまでの学修・研究内容を評価し、口述試験ではこれまでの研究実績および入学後の研究計画についてのプレゼンと質疑応答を行い、プレゼン能力、論理的思考力、研究の能力、そして社会実装への意欲も評価する。

出願時の主な提出書類

修了（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、推薦書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

2 名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和 9 年度入学者選抜の概要

次世代エネルギー共創学位プログラム (博士前期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

高度情報技術、エネルギー・環境材料などの技術開発に係わる一つの分野の基礎・専門知識および教員の指導の下で研究の能力を有するのみならず、社会への応用、関係する社会システムにも関心を有し、社会の持続可能な発展に貢献する意欲のある人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。高度情報技術、エネルギー・環境材料などの技術開発に係わる一つの分野の基礎・専門知識、研究能力に加え、地球規模課題に関する関心および学習意欲を問う。評価は書類審査ならびに口述試験により行う。書類審査によりこれまでの学修歴、学修内容を評価し、口述試験により基礎学力、コミュニケーション能力、論理的思考力、研究の能力と意欲を評価する。

出願時の主な提出書類

卒業（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

10名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和 9 年度入学者選抜の概要

次世代エネルギー共創学位プログラム (博士後期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

高度情報技術、エネルギー・環境材料などの技術開発に係わる一つの分野において自分で考えて研究を遂行する能力を有するのみならず、社会への応用、関係する社会システムを理解し、社会の持続可能な発展に貢献することを目指し自律的に研究を進めて行くことが出来る人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。高度情報技術、エネルギー・環境材料などの技術開発に係わる一つの分野における研究能力に加え、地球環境問題への本質的な理解とその解決を目指して自律的に研究を進めて行くことのできる資質・能力を問う。評価は書類審査ならびに口述試験により行う。書類審査によりこれまでの学修・研究内容を評価し、口述試験ではこれまでの研究実績および入学後の研究計画についてのプレゼンと質疑応答を行い、プレゼン能力、論理的思考力、研究の能力と意欲を評価する。

出願時の主な提出書類

修了（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

3 名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

10 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 9 月
入学試験	令和 8（2026）年 1 0 月
合格発表	令和 8（2026）年 1 1 月

1-2 月実施入試

募集要項公表	令和 8（2026）年 9 月
出願受付	令和 8（2026）年 1 2 月
入学試験	令和 9（2027）年 1 ～2 月
合格発表	令和 9（2027）年 2 月

令和 9 年度入学者選抜の概要

ライフイノベーション学位プログラム (博士前期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

ライフサイエンスの広範な分野において、イノベーションを実現する強い意欲を持ち、その実現に必要な高度な研究能力と、グローバルな舞台で活躍するためのコミュニケーション能力を修得するに十分な素養を有する人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。口述試験により、本学位プログラムで専門分野を学ぶために必要な基礎学力、ライフサイエンス分野におけるイノベーション実現への意欲、それに資する持続的成長可能性、探求心などを評価する。その中で、本学位プログラムで必要となる英語によるコミュニケーション能力を有しているかについても評価する。

出願時の主な提出書類

卒業（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

18名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

1-2 月実施入試

募集要項公表 令和 8（2026）年 9 月

出願受付 令和 8（2026）年 1 2 月

入学試験 令和 9（2027）年 1～2 月

合格発表 令和 9（2027）年 2 月

令和9年度入学者選抜の概要

ライフイノベーション学位プログラム (博士後期課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

ライフサイエンスに関わる専門分野における研究基礎力を有し、イノベーションの実現に必要な専門知識と、国際社会で研究活動を遂行するために十分な英語運用能力を修得するに十分な素養を有する人材を求める。

2. 選抜方法

試験科目

一般入試として入学試験を実施する。口述試験により、ライフサイエンス分野におけるイノベーションの実現に向けた意欲、研究基礎力、研究背景・研究計画ならびに研究成果の社会還元について具体的に説明できる能力を評価する。その中で、英語を用いて自身の考えを明確に伝え、学術的議論に参加できる能力を有しているかについても評価する。

出願時の主な提出書類

修了（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、外部英語試験スコア票、研究計画書等

3. 募集人数

12名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

1-2 月実施入試

募集要項公表 令和 8（2026）年 9 月

出願受付 令和 8（2026）年 1 2 月

入学試験 令和 9（2027）年 1～2 月

合格発表 令和 9（2027）年 2 月

令和 9 年度入学者選抜の概要

ヒューマニクス学位プログラム (一貫制博士課程)

当該入学者選抜の概要は、現在文部科学省への設置申請中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。正式な入試情報は、設置認可後に公表される募集要項にて必ずご確認ください。

1. 求める人材

医学・人間生物学と理工情報学・物質科学の二つの分野を融合したヒューマニクス領域でパラダイムシフトとなりうる課題の発見・解決を通して、人類の未来に貢献するという強い意志を持ち、下記のいずれかの基礎的な知識、さらにそれらの分野において学際的な研究に高い関心を持つ人材を求める。

- ・医学・人間生物学のいずれかの分野で基礎的な知識・技能を有し、さらに理工情報学・物質科学のいずれかの分野の学際的な研究に高い関心を持つ人材。
- ・理工情報学・物質科学のいずれかの分野で基礎的な知識・技能を備え、さらに医学・人間生物学のいずれかの分野で学際的な研究に高い関心を持つ人材。

2. 選抜方法

試験科目

本学位プログラムは、医学・人間生物学と理工情報学・物質科学の知識・技能を有機的に融合し、人類が直面する生命と健康上の課題を克服しうるパラダイムシフトとなる科学及び技術を研究する課程である。入学者選抜においてこうした学位プログラムの特性を生かし、医学・人間生物学と理工情報学・物質科学における専門性と学際性、先進的な創造性、国際性、そして専門外の研究者への説明能力を基調とした入学要件、選抜方式又は選抜基準を設定する。

具体的には、入学者選抜区分は一般で実施し、口述試験 1 と口述試験 2 の科目を設ける。口述試験 1 では、医学・人間生物学と理工情報学・物質科学の専門知識を問う口述試験を実施し、口述試験 2 では、研究計画と入学後のキャリアプランに関するプレゼンテーション及び質疑応答を実施し、総合的に評価する。

出願時の主な提出書類

卒業（見込）証明書、学位取得証明書、成績証明書、外部英語試験スコア票、推薦書、研究計画書等

3. 募集人数

8 名

4. スケジュール（令和 9（2027）年度入学者選抜）予定

1-2 月実施入試

募集要項公表 令和 8（2026）年 9 月

出願受付 令和 8（2026）年 1 2 月

入学試験 令和 9（2027）年 1～2 月

合格発表 令和 9（2027）年 2 月
